



# 第5回中日企業家倶楽部 ゴルフコンペを開催



各団体代表による乾杯

晴天に恵まれた12月3日(金)に第5回中日企業家倶楽部ゴルフコンペが嘉定区の穎奕安亭高尔夫俱楽部で開催された。中華総商会上海聯誼会、新沪商連合会などと2017年に始まった中日企業家倶楽部ゴルフコンペは、当初「中日友好ビジネスゴルフコンペ」の名称で開催さ



赤松秀一総領事・大使

れていたが、日中の民間団体間の交流の意義が深まり、最近名称が変更となった。

本来は、土日のいずれかの休日で開催していたが、新型コロナで人の移動が少なくなっていることから、ゴルフ人気が高まっており、いくつかのゴルフ場では土日に大きなコンペを開催することが出来ずに平日の金曜日開催となった。また、浦東新区でのコロナ感染者発生の影響もあり、3名が不参加となったが、21組(81名)が無事にラウンドを終えた。

商工クラブからは、中塚潤一郎・理事長<三菱商事(中国)有限公司 董事長・総経理>をはじめ10名ほどの参加であったが、来賓として赤松秀一・駐上海日本国総領事(大使)、御子神大介・中国日本商会

会長<住友商事株式会社常務取締役・東アジア総代表>が参加し、日中交流を多に盛り上げていただいた。

プレー終了後には、第2部の交流会として日中それぞれの代表からミニ講演が行われ、日中経済関係の重要性と今後の協力の方向性についてスピーチがあり、多くの参加者から共感を得ていた。日本側からは、中塚理事長が上海市の一層の改革・開放への期待とともに、RCEPなど経済連携協定活用でのチャンスの拡大、来年の日中国交正常化50周年による交流の拡大などを語った。

なお、ゴルフコンペの結果は、コースを熟知している中国人女性がグロス73という圧倒的なスコアで優勝し、日本側参加者は慣れない難しいコースに軒並み100を超えるスコアを叩いていた。また、表彰式・懇親会では、キリン(中国)投資有限公司から多数の賞品を提供いただき、厚くお礼申し上げる。懇親会でもあちこちのテーブルでビールの乾杯が盛り上がっていた。



ゴルフコンペ始球式